

(講座)臨床薬学
(氏名)麓 伸太郎

(研究室)薬剤学
(職名)助教

【研究テーマ】

1. 臓器表面投与方法による遺伝子導入効率の増強及び持続化に関する研究
2. 臓器表面投与方法における遺伝子医薬品の取り込み機構の解析
3. 肝臓を標的とした新規遺伝子デリバリーシステムの開発

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. Y. Kodama, S. Fumoto, J. Nishi, M. Nakashima, H. Sasaki, J. Nakamura and K. Nishida:
Absorption and distribution characteristics of 5-fluorouracil (5-FU) after an application to the liver surface in rats in order to reduce systemic side effects,
Biological & Pharmaceutical Bulletin, 31: 1049-1052 (2008). (IF: 1.614)
2. J. Nishi, S. Fumoto, H. Ishii, Y. Kodama, M. Nakashima, H. Sasaki, J. Nakamura and K. Nishida:
Improved stomach selectivity of gene expression following microinstillation of plasmid DNA onto the gastric serosal surface in mice,
European Journal of Pharmaceutics and Biopharmaceutics, 69: 633-639 (2008). (IF: 2.611)
3. J. Nishi, S. Fumoto, H. Ishii, Y. Kodama, M. Nakashima, H. Sasaki, J. Nakamura and K. Nishida:
Highly stomach-selective gene transfer following gastric serosal surface instillation of naked plasmid DNA in rats,
Journal of Gastroenterology, 43: 912-919 (2008). (IF: 2.052)

(A-b) 総説

1. S. Fumoto, J. Nishi, J. Nakamura and K. Nishida:
Gene therapy for gastric diseases,
Current Gene Therapy, 8: 187-200 (2008). (IF: 4.455)

【学会発表】

B 国内学会

(B-a) 招待講演、特別講演、受賞講演

1. 麓 伸太郎
非ウイルス性ベクターによる臓器・部位・細胞選択的遺伝子導入法に関する研究
平成20年度 日本薬学会九州支部学術奨励賞 受賞講演、平成20年12月、延岡

(B-b) 一般講演

1. 西田 孝洋, 木下 真理子, 近藤 理美, 兒玉 幸修, 麓 伸太郎, 中嶋 幹郎, 佐々木 均, 中村 純三:
薬物の肝臓内直接投与時における粘性添加剤による局所滞留性の制御,
日本薬剤学会第 23 年会, 平成 20 年 5 月, 札幌
2. 西 順也, 麓 伸太郎, 石井 啓樹, 中嶋 幹郎, 佐々木 均, 中村 純三, 西田 孝洋:
マウス胃漿膜表面細胞における plasmid DNA 取り込み機構の in vivo 解析,
第 24 回日本 DDS 学会大会, 平成 20 年 6 月, 東京
3. 石井 啓樹, 麓 伸太郎, 西 順也, 中嶋 幹郎, 佐々木 均, 中村 純三, 西田 孝洋:
Plasmid DNA のラット胃漿膜表面投与による胃への高選択的遺伝子導入,
第 24 回日本 DDS 学会大会, 平成 20 年 6 月, 東京
4. 麓 伸太郎, 中嶋 幹郎, 佐々木 均, 中村 純三, 西田 孝洋:
血液成分による plasmid DNA の in vivo デリバリー,
第 24 回日本 DDS 学会大会, 平成 20 年 6 月, 東京
5. 古川 智也, 麓 伸太郎, 中嶋 幹郎, 佐々木 均, 中村 純三, 西田 孝洋:
Plasmid DNA のマウス肝臓表面投与時における取り込み機構の解析,
第 24 回日本 DDS 学会大会, 平成 20 年 6 月, 東京
6. 西田 孝洋, 麓 伸太郎, 中村 純三, 丸田 英徳, 鈴木 齊, 黒川不二雄:
インターネットでの eラーニングによる予習を基本にした薬剤学実習の実践,
日本医療薬学会第 18 年会, 平成 20 年 9 月, 札幌
7. K. Nishida, Y. Kodama, S. Kondo, C. Nishimura, S. Fumoto, M. Nakashima, H. Sasaki, J. Nakamura:
Influence of vasomodulators and tumor transplantation on the disposition of 5-fluorouracil after application to liver surface in rats,
日本薬物動態学会第 23 回年会, 平成 20 年 10 月, 熊本
8. M. Teshima, S. Yoshida, S. Fumoto, K. Nishida, J. Nakamura, M. Nakashima, T. Hamamoto, H. To, T. Kitahara, H. Sasaki:
Effect of disease stage on gene expression by polyplex and lipoplex in murine hepatitis induced by carbon tetrachloride,
日本薬物動態学会第 23 回年会, 平成 20 年 10 月, 熊本
9. H. Miyamoto, H. Miyake, S. Fumoto, M. Nakashima, Hitoshi Sasaki, J. Nakamura, Koyo Nishida:
Evaluation of change in disposition of phenolsulfonphthalein and indocyanine green as model compounds at low temperatures in rat liver perfusion system,
日本薬物動態学会第 23 回年会, 平成 20 年 10 月, 熊本
10. 西 順也, 麓 伸太郎, 中村 純三, 西田 孝洋:
Plasmid DNA による胃漿膜表面への遺伝子導入を制御する細胞内シグナル伝達経路,
第 25 回日本薬学会九州支部大会, 平成 20 年 12 月, 延岡

11. 近藤 理美, 兒玉 幸修, 麓 伸太郎, 中村 純三, 西田 孝洋:
粘性添加剤併用時の肝臓表面からの薬物吸収速度の予測: *in vitro* 透析膜透過実験系による *in vivo* との相関,
第 25 回日本薬学会九州支部大会, 平成 20 年 12 月, 延岡
12. 西田 孝洋, 麓 伸太郎, 中村 純三:
臓器表面からの薬物吸収を利用した DDS に関する研究,
第 2 回薬学研究フォーラム in 東京, 平成 20 年 12 月, 東京
13. K. Nishida, N. Inaoka, H. Miyake, H. Miyamoto, S. Fumoto, J. Nakamura:
Influence of dose on change in pharmacokinetics of phenolsulfonphthalein and indocyanine green under hypothermia,
第 2 回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム, 平成 20 年 12 月, 京都

【研究費取得状況】

1. Plasmid DNA の臓器表面投与方法における取り込み機構の解明:
日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究(B)) 代表
2. テーラーメイド型遺伝子デリバリーシステムの基盤構築:
上原記念生命科学財団研究奨励金 代表

【過去の研究業績総計】

原著論文(欧文)	27 編	(邦文)	0 編
総説 (欧文)	1 編	(邦文)	0 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
特許	0 件		